

あいち農産物生産流通レポート

令和3年3月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ “2021花半島事業フラワーフェスティバル”が開催されました (知多農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報	
・ 洋菜品質検討会の開催 (東京事務所)	2
◎ フラワーページ	
・ 2020年の花・植物の消費の動向 (東京事務所)	4
◎ 青 果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し	8
◎ 花 き	
・ 切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)	20

※今月、「情報サロン」、「西日本情報」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

“2021 花半島事業フラワーフェスティバル” が開催されました

知多農林水産事務所

令和3年1月16日(土)、17日(日)の2日間、常滑市のイオンモール常滑において、「2021 花半島事業フラワーフェスティバル」が開催されました。14回目を迎えたこのフェスティバルは、知多半島の花きの魅力を存分に発信し、地域を彩る華やかなイベントとして定着しています。

1 フェスティバルの概要

本フェスティバルは、地域の農業団体・行政・観光団体が「花半島事業構想」の一環として、四季を通じて花の咲きほころぶ「知多半島・花半島」を目指し、平成19年度から開催しています。

J Aあいち知多が主体となり、会場を花のモニュメントで飾り、訪れる人々の目を楽しませていました。また、知多半島産の花きの販売や花きを利用した体験など、盛りだくさんの内容で開催されました。

2 展示、体験の内容

会場全体を様々な花のモニュメントで飾り、「花のおもてなし」として、心安らげる空間が作られていました。ランドマークとなる花のメインモニュメントは、圧倒的な迫力で、写真撮影スポットとして賑わっていました。

また、生産者により管理のしやすい季節の寄せ植えや洋らん等の鉢物、切花アレンジやブーケ等が販売され、多くの人が買い求めていました。

体験コーナーには、親子で花と触れ合いながら、簡単に制作できる「花植え体験」や「花くま作り体験」などが設けられ、楽しそうに作品を作る姿が見られました。

さらに、知多地域5市5町のパネルコーナーもあり、来場者へ地域の特産品等がPRされていました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大対策をとりながらの開催となりましたが、会場には大勢の方が訪れ、愛知県有数の花き産地であり、季節の花で溢れる「知多半島・花半島」が大いにPRされました。



メインモニュメント



フォトスポットモニュメント



親子体験コーナー



販売コーナー

洋菜品質検討会の開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

京浜市場愛知県野菜連絡会洋菜研究会は、例年1月～2月に静岡県京浜地区野菜流通協議会洋菜部会と合同で洋菜の品質検討会を開催しています。今年は緊急事態宣言下において開催が危ぶまれましたが、2月5日（金）に開催されました。

1 はじめに

これまでは卸売会社から10数名のほか各産地の生産者も参加して総勢30名ほどで開催されていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卸売会社は会場である大田市場内に所在する2社の参加とし、生産者は不参加とされました。参加者を絞った中で、換気のために窓は開放してアルコール消毒用のボトルも準備され、レタス、サニーレタス、グリーンリーフ、セルリー、ブロッコリー、カリフラワーの各品目について、卸売会社の担当者により品質検討されました。

2 品質検討結果

(1) レタス

本県1産地含め5県7産地について検討されました。

本県産は、ボリューム感、切り口の状態、外葉の枚数について適切と評価されましたが、収穫時期は適切でなく、結球が締まりすぎていました。病害虫は見られなかったものの全体的に小ぶりで、小ぶりすぎるものも混じっていました。

他県産も含めた総評としては、全般的に結球が締まりすぎ、ラグビーボール型のような変形球も多いとのことでした。結球の大きさが大小混じる産地もある中で、変形球はなく、いずれの項目も適切と評価された産地もありました。



レタスの品質検討の様子

(2) サニーレタス

本県3産地含め5県9産地について検討されました。

本県の3産地は、着色は良いものの株揃いが良くなかったり、株揃いは良好でボリューム感もある一方で、箱の蓋に当たって押された葉の変色や萎れ、折れがみられたり、色がやや薄かったりと何かしらの問題点がありました。

他県産では、丈の長さの不足が指摘される



サニーレタスとグリーンリーフ

産地もありましたが、品質は安定していてボリューム感がしっかりと高く評価される産地もありました。

(3) グリーンリーフ

本県2産地を含め5県6産地について検討されました。

本県の2産地のうち1産地は葉先の状態は適切なものの丈の長さがやや短いと評価された一方、もう1産地は丈が長すぎて箱に潰されて変色し、葉先の状態が良くないとの評価でした。

他県産も含め、焼け、萎れ、ボリューム不足などの品質劣化が多数見られ、鮮度感がないなど、全体的に厳しい評価でした。

(4) セルリー

本県2産地を含め4県5産地について検討されました。

本県の2産地のうち1産地は箱の上段と下段で株の大きさに差があるものの全体的には良好と高く評価されました。もう1産地は、ボリューム感は適切なものの枝の折れが2本あったほか、最も価値の高い芯部に腐りがみられました。

枝の折れは他産地でもありましたが、全体的には品質良好との総評でした。

(5) ブロッコリー

本県2産地を含め5県6産地について検討されました。

本県の2産地のうち1産地は花蕾の色が濃く形状も良好と評価された一方、もう1産地は生理障害であるキャッツアイが多く、花蕾の大きさが1段階下の小さい株が入っていました。

他産地では花蕾の色が緑一色でなくムラがあったり黄色いものが入っていたり、花蕾の形状が乱れた株が入っていたりと低い評価をされた産地もありました。



ブロッコリーとカリフラワー

総評としては、共選産地の方がムラがなくて良い。品質差が出づらい時期であるが、比べると産地の優劣が出るとのことでした。

(6) カリフラワー

本県1産地を含め5県6産地について検討されました。

本県産は、大きな問題点はないものの、もう少し花蕾に色沢（白さ）が欲しいとされ、全体的にもう一步といった評価でした。

最も評価の高かった他県産は、色沢の評価が高く、株の重量、形状ともに良好とされました。

総評としては、カリフラワーは花蕾の色味が重要であり、シミなどがひとつあるだけでかなり悪く見えてしまうとのことでした。

また、市場情勢の報告において「ブロッコリーは2月中旬以降、気温の上昇に伴って段ボール産地のクレームが増える。対応が遅れると産地の切替につながるので早めの対応をお願いしたい」との話がありました。

競合産地を意識し、ときには他産地の品を実際に見て自らの品を比較し、品質の高いものを揃えて出荷することが選ばれる産地であるために重要だと思われます。

2020 年の花・植物の消費動向

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2020 年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、それに伴う緊急事態宣言などで、経済に様々な影響がありました。花きについては、関係者から切花の販売不振や、趣味として園芸を始める人の増加といった話題を聞くことができました。

この点について、消費動向と市場動向から探ります。

1 切花への支出について

総務省「家計調査」から、2020 年の切花への支出を過去と比較した結果は、図 1 のとおりです。

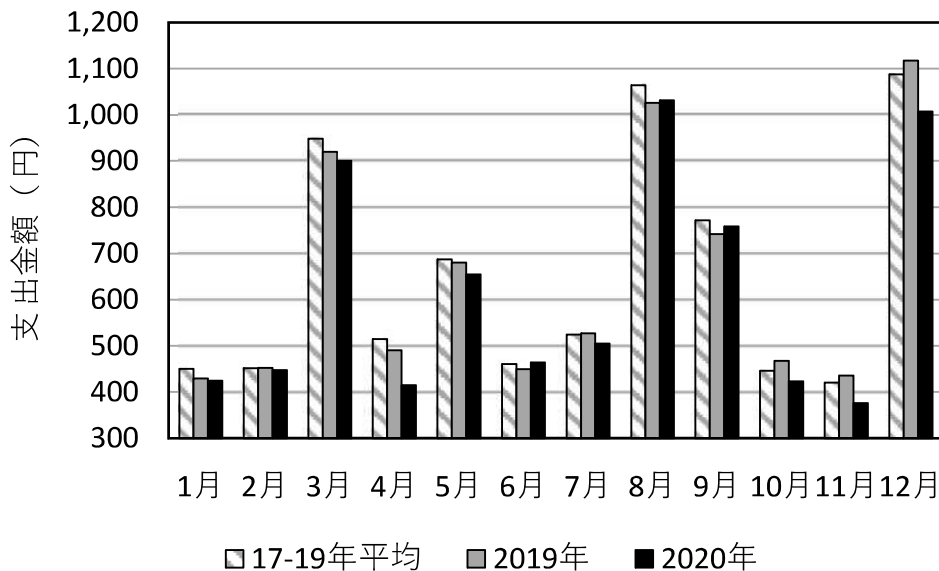


図 1 二人以上の世帯における切花への支出金額の推移

- ・総務省「家計調査」より作成
- ・消費税は抜いて作成した

切花について、2020 年の支出が 2019 年の支出を下回る月は 1～5 月、7 月、10～12 月となりました。また、過去 3 年の平均の支出金額と比較してみても、6 月以外の支出金額は平均を下回る結果になりました。特に 4～5 月は緊急事態宣言下で生花店が休業した影響、10～12 月は新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響が一定程度あったと思われます。コロナ禍でテレワークが推進されることで、駅の中にある生花店への来客数が減少したといったこと等も考えられ、こうした社会情勢の変化の影響を受けたと言えるのではないのでしょうか。

切花に対する 2017 年～2019 年の平均支出額の合計は 7,831 円、2019 年の支出金額の合計は 7,741 円だったのに対し、2020 年の支出金額の合計は 7,411 円となり、やはり 2020 年の切花に対する支出は過去と比べて低く抑えられていたと言えます。

2 園芸用植物への支出について

総務省「家計調査」から、2020 年の園芸用植物への支出を過去と比較した結果は、図 2 のとおりです。

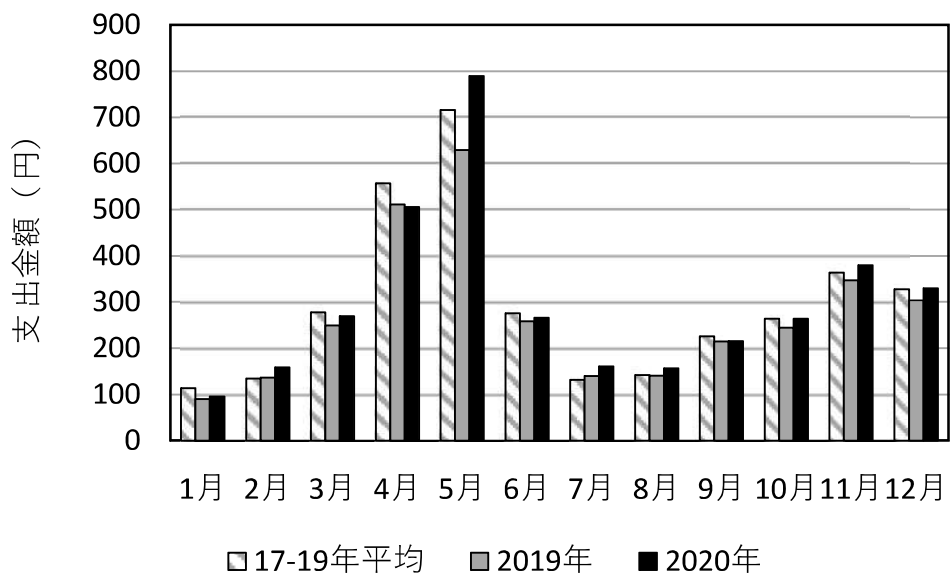


図2 二人以上の世帯における園芸用植物への支出金額の推移

- ・総務省「家計調査」より作成。なお、同統計で園芸用植物はガーデニング、家庭菜園に係る植物（草花の種、球根、鉢植えの植木、草花、苗木、盆栽など）を指す
- ・消費税は抜いて作成した

園芸用植物について、2020年の支出が2019年の支出を下回る月は4月のみであり、他の月は2019年の支出を上回りました。また、過去3年の平均の支出金額と比較してみても、2020年2月、5月、7～8月、11～12月の支出金額が平均を上回るという結果になりました。コロナ禍で在宅勤務用に観葉植物を買ったり趣味で園芸を始めたといった話題を耳にしましたが、特に5月以降はそうしたことが反映されているのではないかと考えられます。

園芸用植物に対する2017年～2019年の平均支出額の合計は3,528円、2019年の支出金額の合計は3,264円だったのに対し、2020年の支出金額の合計は3,589円となり、2020年の園芸用植物に対する支出は過去と比べてある程度伸びたと言えます。

3 卸売市場での取扱金額について

これまで家計での支出金額について見てきましたが、市場の取扱実績は表1のようになります。東京都中央卸売市場の2020年実績では、切花やらん鉢が前年の取扱実績をかなり下回ったのに対し、鉢花は前年並、観葉植物や苗木は前年をかなり上回りました。このことから、切花や高価格帯の贈答品であるらん鉢が苦戦した一方で、鉢花、観葉植物、苗木は園芸への需要があったものと考えられます。

新型コロナウイルス感染症が花きの消費動向に影響を与えることは、まだしばらく続くと思われまます。今後も市場や消費の動向について、注視していきます。

表1 東京都中央卸売市場での花きの種類別取扱実績

単位：百万円、%

	取扱実績		比率
	2019年	2020年	
切花	51,050	45,652	89
鉢花	3,917	3,865	99
らん鉢	4,010	3,605	90
観葉植物	2,987	3,165	106
苗木	4,020	4,248	106

- ・東京都中央卸売市場市場統計情報より作成
- ・消費税は抜いて作成した

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
2年実績	393	380 (97%)	283	274	徳島 (3%) —
3年見通し	350	—	294	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の知多、稲沢、海部を中心に入荷する。本年は2月10日頃から春ふき（促成）に切り替わった。2月末時点の生育状況はやや遅れ気味で、Lサイズを中心に入荷している。3月の入荷量は前年をやや下回るものの、順調な入荷を見込む。3月中旬から4月上旬のピークに向けて、2L・Lサイズを中心に増量していく見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>生産者と栽培面積は年々減少傾向にあり、市場への入荷量も減少している。量販店等での売り場を確保するためには、一定の入荷量を維持したい。特にこれからの入荷ピークを迎える時期は、春商材としての需要が高い時期でもあるため、安定した出荷をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
2年実績	778	593 (76%)	324	326	群馬 (19%) 千葉 (2%) 岩手 (1%)
3年見通し	720	—	320	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産は10～5月に入荷し、3～4月にピークを迎える。 今シーズンも必要な低温を得られず、本県産は生育が遅れているが、それ以外は生育良好で今後は順調な入荷が続くと見込まれる。一方、他の品目も潤沢な入荷が続くと見込まれるため、販売は苦戦が予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>			<p>本県産のふきは、春商材として業務だけでなく量販店からの引き合いも強いが、新型コロナウイルス感染症の影響で業務用は期待できず量販店一辺倒の販売となる。 今春は昨春と異なり春筍の裏年のためセット販売での販売促進はしづらいものの、棚づくりや棚の維持に向けて、しっかりした入荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
野菜計	28年	33,341	244	252	241	237	愛知 23%	
	29年	32,937	236	236	237	231	北海道 22%	
	30年	34,937	229	254	229	204	鹿児島 9%	
	元年	33,666	206	213	208	195	茨城 7%	
	2年	34,355	216	212	218	218	熊本 5%	
	5ヵ年平均	33,847	226	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	32,400	224	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	愛知、北海道を中心に入荷する。ばれいしょは北海道の貯蔵物の在庫少なく、後続産地の入荷も少ないことから高値の予想。果菜類は気温上昇に伴い増量する見込み。価格は前年を下回る品目が多いか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
	だいこん	28年	1,593	101	91	100	114	千葉 52%
29年		1,508	102	99	98	113	静岡 14%	
30年		1,823	124	176	114	92	鹿児島 13%	
元年		1,500	77	72	79	86	愛知 8%	
2年		1,512	85	77	78	105	神奈川 6%	
5ヵ年平均		1,587	99	106	95	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		1,500	93	90	90	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
千葉、静岡、鹿児島などから入荷する。各産地ともに生育順調。静岡、神奈川、徳島は中旬以降に入荷量が少なくなり、終了する見込み。春大根中心の入荷となり、全国的に端境となる。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。								
にんじん		28年	1,822	122	103	124	138	徳島 60%
	29年	1,787	167	156	167	175	愛知 39%	
	30年	1,138	244	218	250	272	鹿児島 1%	
	元年	1,756	118	112	131	109		
	2年	1,846	167	125	174	194		
	5ヵ年平均	1,670	157	137	163	170	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	1,700	160	150	160	170		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	徳島、愛知を中心に入荷する。愛知の冬作は前進傾向で残量が例年より少なく、上旬頃に切り上がるか。徳島の春作は作柄良好で上旬から入荷が始まり、中旬以降は順調な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

2月28日現在

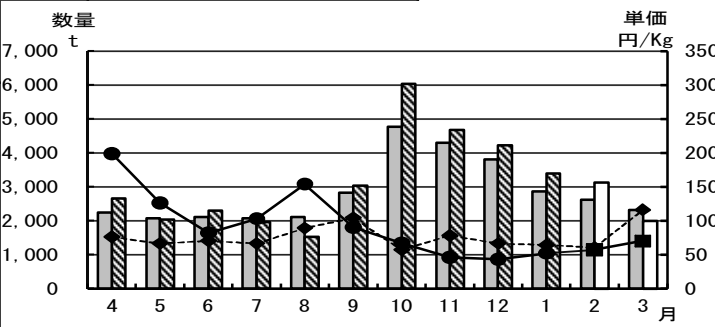
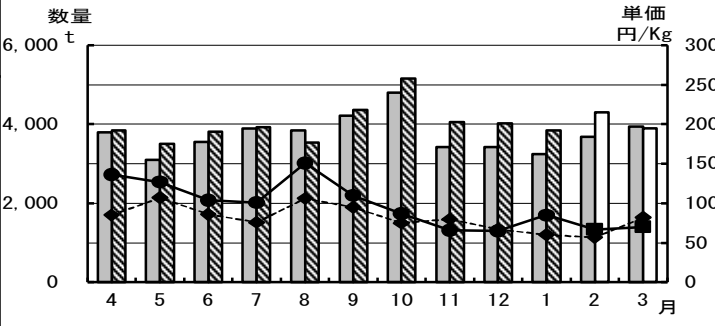
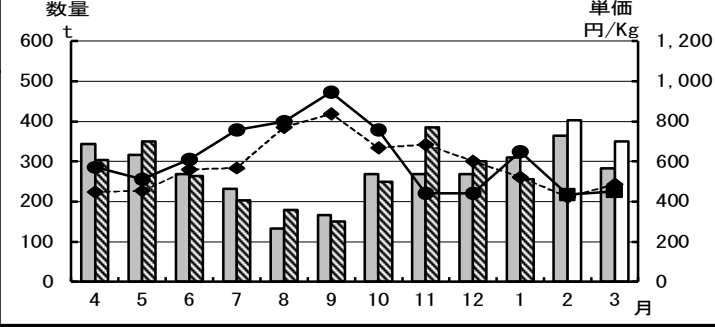
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	28年	123, 552	277	275	273	281	千葉 14%
	29年	127, 734	261	253	263	266	茨城 13%
	30年	130, 737	259	286	243	245	北海道 12%
	元年	123, 182	230	227	228	235	愛知 11%
	2年	124, 375	244	228	235	263	神奈川 6%
	5ヵ年平均	125, 916	254	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	126, 000	240	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>秋冬作から春作への切り替わりの時期となる。適度な降雨や気温上昇によって生育遅延や肥大遅れは前月に解消し、潤沢な入荷が続く見込み。一部品目では生育の早まりなどにより品薄感が出る時期があるか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>							
だいこん	28年	11, 524	94	80	87	113	千葉 52%
	29年	12, 181	94	94	87	98	神奈川 42%
	30年	12, 250	116	169	105	82	福岡 2%
	元年	9, 739	76	76	70	84	鹿児島 1%
	2年	10, 224	77	71	65	95	茨城 1%
	5ヵ年平均	11, 184	93	100	84	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	10, 000	80	75	80	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、神奈川からの入荷がほとんどを占める。千葉はトンネル作が出揃い、後半に量を増やす。一方、神奈川は秋冬系から春系への切替わりで端境となる、一時的にせよ量を減らすと価格上昇もありうる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
にんじん	28年	7, 774	116	105	122	121	徳島 47%
	29年	7, 404	179	183	181	175	千葉 28%
	30年	6, 034	197	179	203	212	埼玉 4%
	元年	7, 566	107	103	113	103	鹿児島 4%
	2年	6, 436	175	153	175	188	茨城 3%
	5ヵ年平均	7, 043	152	142	156	156	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6, 500	170	160	180	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>徳島、千葉を中心に入荷する。徳島は入荷が本格化し、後半に向けて量を増やす。千葉は順調に収穫が進み、終盤のため量を減らしていく。中旬に端境期を迎え、一時的に相場は上がるか。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	28年	1,894	116	105	126	120	茨城 33%	
	29年	2,033	124	103	121	151	兵庫 22%	
	30年	2,079	133	156	121	116	長崎 21%	
	元年	2,045	64	51	67	73	三重 13%	
	2年	2,308	116	101	104	135	愛知 5%	
	5ヵ年平均	2,072	111	103	107	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,000	70	60	70	80		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長崎、兵庫などから入荷する。各産地ともに生育順調。茨城の秋冬作はほぼ終了し、下旬より春作が入荷する見通し。長崎は上旬から春作が入荷し、兵庫は終盤に入る。愛知はほぼ終了か。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
	<p>茨城、長崎、兵庫などから入荷する。各産地ともに生育順調。茨城の秋冬作はほぼ終了し、下旬より春作が入荷する見通し。長崎は上旬から春作が入荷し、兵庫は終盤に入る。愛知はほぼ終了か。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
	キヤベツ	28年	4,576	76	79	73	80	愛知 94%
29年		3,714	115	120	112	118	滋賀 2%	
30年		4,010	128	185	118	102	兵庫 1%	
元年		4,535	54	57	48	59	三重 1%	
2年		3,944	82	76	68	94	神奈川 1%	
5ヵ年平均		4,156	89	101	82	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		3,900	70	60	70	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知主体の入荷となる。低温と干ばつの影響で小玉傾向がみられたが、適度な降雨と気温上昇により生育は回復し、順調に入荷する見通し。業務需要が悪く、価格低迷が予想される。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
<p>愛知主体の入荷となる。低温と干ばつの影響で小玉傾向がみられたが、適度な降雨と気温上昇により生育は回復し、順調に入荷する見通し。業務需要が悪く、価格低迷が予想される。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>								
ほうれんそう		28年	301	545	622	460	569	愛知 50%
	29年	372	387	333	414	437	茨城 24%	
	30年	489	350	374	319	373	岐阜 12%	
	元年	330	377	335	358	465	福岡 4%	
	2年	283	487	423	462	587	静岡 3%	
	5ヵ年平均	355	418	408	393	471	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	350	450	400	450	500		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は生育順調で、入荷量は切り上がりの早かった前年を大幅に上回る見込み。茨城は他品目からの切り替えにより、順調な入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					
	<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は生育順調で、入荷量は切り上がりの早かった前年を大幅に上回る見込み。茨城は他品目からの切り替えにより、順調な入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	28年	6,638	110	80	126	128	茨城 70%	
	29年	7,238	130	99	127	175	兵庫 15%	
	30年	7,959	135	159	122	113	群馬 8%	
	元年	7,420	46	38	42	60	長崎 4%	
	2年	8,079	103	80	90	144	埼玉 2%	
	5ヵ年平均	7,467	105	92	101	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	8,000	35	35	35			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫からの入荷が中心となる。茨城は出荷ピークの終盤を迎え、秋冬作から春作へ切り替わるが春作は遅れ気味。兵庫も終盤で量を減らすも、総じて潤沢な出回り。気温上昇で需要が減り相場は厳しい。入荷量は多かった前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は4月約7,000t、5月約7,000t、6月約7,000t、7月約7,000t、8月約7,000t、9月約7,000t、10月約7,000t、11月約7,000t、12月約7,000t、1月約7,000t、2月約7,000t、3月約7,000tと推移しています。単価は4月約110円/kg、5月約130円/kg、6月約135円/kg、7月約46円/kg、8月約80円/kg、9月約90円/kg、10月約126円/kg、11月約127円/kg、12月約113円/kg、1月約60円/kg、2月約144円/kg、3月約100円/kgと推移しています。</p>					
	キャベツ	28年	16,826	90	87	87	96	愛知 62%
29年		17,423	124	119	124	128	神奈川 20%	
30年		17,665	139	183	124	118	千葉 15%	
元年		19,841	62	64	57	66	茨城 1%	
2年		18,316	93	77	75	119		
5ヵ年平均		18,014	101	105	92	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		18,500	75	80	75	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、神奈川、千葉からの入荷がほとんどを占める。春系が中心となってくる中、主力3県とも生育順調。適度な降雨と気温高で大玉傾向の産地もある。潤沢な入荷が続くと見込まれ、相場展開は厳しいか。入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は4月約16,800t、5月約17,400t、6月約17,600t、7月約19,800t、8月約18,300t、9月約18,000t、10月約18,500t、11月約18,000t、12月約18,000t、1月約18,000t、2月約18,000t、3月約18,000tと推移しています。単価は4月約90円/kg、5月約87円/kg、6月約87円/kg、7月約96円/kg、8月約119円/kg、9月約124円/kg、10月約128円/kg、11月約118円/kg、12月約62円/kg、1月約66円/kg、2月約119円/kg、3月約90円/kgと推移しています。</p>						
ほうれんそう		28年	1,231	551	564	501	584	茨城 39%
	29年	1,461	399	336	453	430	群馬 31%	
	30年	1,722	389	382	368	421	埼玉 12%	
	元年	1,495	357	307	362	418	千葉 6%	
	2年	1,359	499	427	434	628	熊本 4%	
	5ヵ年平均	1,454	432	397	419	489	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	1,500	375	370	375	380		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。少雨と低温で遅れていた生育は、降雨や気温上昇により回復。一部産地では前進傾向となっている。大きな山谷なく、潤沢な入荷が続くと見込まれる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
			<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は4月約1,200t、5月約1,400t、6月約1,700t、7月約1,500t、8月約1,400t、9月約1,500t、10月約1,500t、11月約1,500t、12月約1,500t、1月約1,500t、2月約1,500t、3月約1,500tと推移しています。単価は4月約550円/kg、5月約390円/kg、6月約380円/kg、7月約360円/kg、8月約420円/kg、9月約430円/kg、10月約580円/kg、11月約430円/kg、12月約410円/kg、1月約410円/kg、2月約620円/kg、3月約550円/kgと推移しています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	812	388	398	399	392	大分 38%
	29年	741	411	416	406	412	静岡 14%
	30年	766	424	484	413	374	鳥取 10%
	元年	892	293	298	288	302	愛知 8%
	2年	886	304	303	292	316	群馬 8%
	5ヵ年平均	820	360	375	356	356	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	900	310	300	310	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>大分、静岡、愛知、鳥取などの各産地から入荷する。白ねぎは九州産地が入荷ピークとなり増量する見込み。静岡、鳥取、関東産は平年並の入荷を見込む。愛知の越津ねぎは終盤に入り、普通ねぎは端境期に入るため、入荷量は前年を下回る見込み。入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>					
し	28年	1,617	293	353	264	277	茨城 42%
	29年	1,813	198	184	212	205	兵庫 33%
	30年	2,086	182	231	154	162	長崎 9%
	元年	1,661	178	166	168	205	静岡 6%
	2年	1,722	201	172	178	243	愛知 4%
	5ヵ年平均	1,780	208	220	193	215	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,700	190	180	180	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫を中心に入荷する。各産地ともに生育順調だが、やや小玉傾向にある。茨城は中旬にピークを迎える。兵庫は秋作から春作に切り替わる上旬頃に入荷減となる見通し。愛知の入荷は前年より少ない。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅう	28年	1,445	309	329	320	298	愛知 59%
	29年	1,450	268	280	284	250	高知 14%
	30年	1,582	285	293	291	272	宮崎 12%
	元年	1,428	312	325	333	281	群馬 7%
	2年	1,610	324	348	343	298	鹿児島 7%
	5ヵ年平均	1,503	300	315	314	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,580	320	330	330	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に高知、宮崎などの西南団地から入荷する。各産地ともに作柄良好で順調な入荷を見込む。上旬は特売需要で若干引き合いあり、中旬から下旬にむけて入荷ピークを迎える。愛知の入荷量は前年並で、群馬は上旬から入荷する見込み。入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	28年	4,722	365	382	359	千葉	38%	
	29年	4,493	382	382	379	埼玉	21%	
	30年	4,562	420	407	344	茨城	16%	
	元年	4,564	279	271	251	栃木	7%	
	2年	4,894	268	250	286	群馬	6%	
	5ヵ年平均	4,647	342	365	337	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	3年見通し	4,600	470	510	470			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県、埼玉県など関東産地からの入荷が中心となる。少雨、低温による生育や肥大遅れは回復傾向にあるも葉傷みは残る。2月の強風で品質低下のみられる産地もある。全体量は多くないが、相場軟化となるか。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>						
し	28年	7,312	279	344	243	258	茨城	48%
	29年	7,739	184	171	191	193	兵庫	10%
	30年	9,702	168	221	136	147	静岡	9%
	元年	7,274	167	163	157	183	香川	8%
	2年	6,799	186	160	163	229	長崎	6%
	5ヵ年平均	7,765	195	213	176	198	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	6,900	170	170	170			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に兵庫、静岡、香川などからの入荷となる。茨城は生育遅れがみられ、下旬に向けて量を増やす見込み。静岡は前進気味で終盤となる。その他産地は概ね生育順調で、不足感のない出回りを見込む。入荷量は少なかった前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
きゅう	28年	6,593	336	349	352	316	群馬	26%
	29年	6,556	283	291	292	273	宮崎	20%
	30年	6,760	307	313	307	300	千葉	15%
	元年	5,841	330	352	360	287	埼玉	15%
	2年	6,266	352	386	365	324	茨城	11%
	5ヵ年平均	6,403	321	337	334	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	6,100	360	370	360	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、千葉などの関東産地と宮崎からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調。越冬作型から半促成作型に切り変わる産地もあり、増量していく。天候により多少の増減あるも十分量の入荷が続く。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	28年	703	391	398	396	384	熊本 56%
	29年	612	394	413	407	377	愛知 40%
	30年	617	415	435	425	393	高知 4%
	元年	644	362	396	363	342	
	2年	653	397	417	411	378	
	5ヵ年平均	646	392	411	400	375	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	650	375	380	375	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に入荷する。両産地ともに作柄良好。熊本は着果良好で、上旬より増量し下旬からピークとなる見通し。愛知も生育順調で前年並の入荷を見込む。外食需要が少ないため、安値が予想される。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
ト マ ト	28年	1,056	494	469	503	504	熊本 51%
	29年	1,274	339	339	341	341	愛知 23%
	30年	1,451	319	340	312	308	三重 13%
	元年	1,245	356	347	360	364	岐阜 12%
	2年	1,082	394	368	406	407	高知 1%
	5ヵ年平均	1,222	374	368	378	378	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,200	370	350	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に入荷する。各産地ともに作柄良好で平年並の入荷を見込む。気温上昇によりサラダ食材の活発な動きが予想され、トマト需要も良好になる見込み。愛知の入荷量は前年を上回る見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	28年	378	989	1,036	1,023	925	熊本 58%
	29年	421	739	783	758	709	愛知 31%
	30年	536	655	705	652	620	和歌山 6%
	元年	472	723	727	731	715	宮崎 4%
	2年	420	778	791	809	753	群馬 1%
	5ヵ年平均	445	765	797	781	734	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	450	620	650	600	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に入荷する。2月は入荷が少なかったが、3月は気温上昇に伴い中旬から増量する見通し。各産地が増量期に入るため、値下がり傾向にある。愛知は生育順調で前年を上回る入荷を見込む。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

2月28日現在

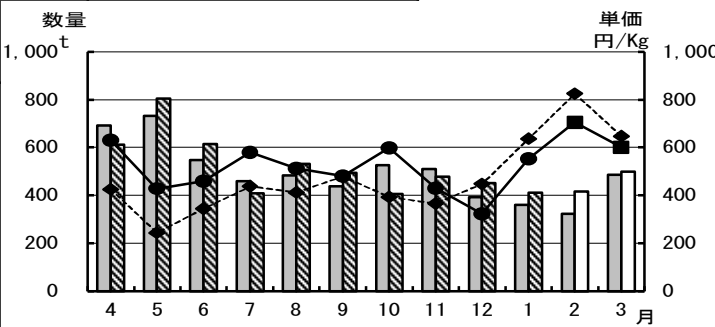
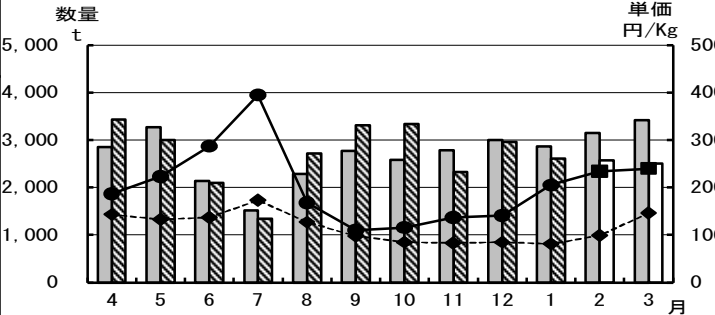
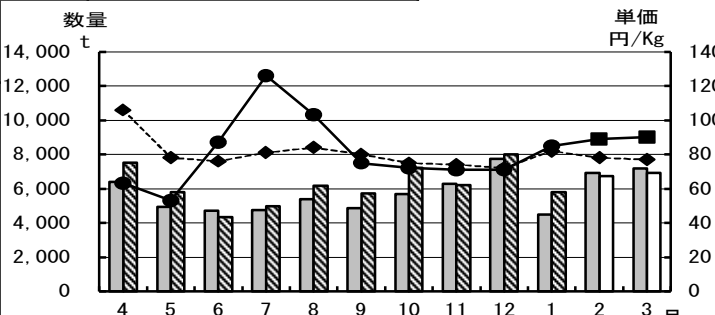
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	28年	2,932	461	451	487	451	高知 61%
	29年	3,228	430	453	430	414	福岡 16%
	30年	2,778	465	491	462	444	熊本 11%
	元年	3,050	412	420	414	403	佐賀 3%
	2年	3,056	447	465	454	432	栃木 2%
	5ヵ年平均	3,009	442	455	449	428	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	3,100	440	470	450	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。低温によってみられていた樹勢低下は、気温上昇により回復。各産地とも花数は多くなり着果も順調。潤沢な出回りが続き、下旬には価格が下落するか。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
ト マ ト	28年	5,806	520	485	535	537	熊本 31%
	29年	6,750	372	368	378	371	栃木 26%
	30年	6,939	356	372	351	344	愛知 12%
	元年	5,965	409	407	411	409	千葉 5%
	2年	5,472	458	440	462	468	群馬 4%
	5ヵ年平均	6,186	419	411	423	421	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,000	340	330	340	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、本県などからの入荷が中心となる。各産地とも生育順調も小玉傾向。着果は安定しており、潤沢な入荷が続くと見込まれる。気温高で需要が伸びれば相場上昇となるか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	28年	1,470	984	1,065	998	920	熊本 42%
	29年	1,728	662	690	684	628	愛知 21%
	30年	1,966	600	651	592	562	千葉 11%
	元年	1,757	714	696	727	716	宮崎 7%
	2年	1,741	755	787	794	713	静岡 7%
	5ヵ年平均	1,732	732	766	747	698	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,800	600	580	600	620	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも作柄良好。小玉傾向は日射量の増加により回復を見込む。着果は良好につき入荷量は増えていき、潤沢な出回りが続くと見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)			
			上旬	中旬	下旬				
ピーマン	28年	544	622	686	632	560	鹿児島	51%	
	29年	632	432	489	472	390	宮崎	35%	
	30年	567	516	619	539	432	高知	12%	
	元年	415	611	606	630	549	茨城	2%	
	2年	486	647	657	659	633	沖縄	1%	
	5ヵ年平均	529	557	607	578	504	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
	3年見通し	500	600	650	600	550			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量 単価 円/Kg	
	鹿児島、宮崎、高知から入荷する。各産地ともに作柄良好。3月は気温の上昇により肥大が早まり、安定した入荷となる見込み。中旬からは茨城の入荷も始まり、全体的に増量する見通し。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。								
	ばれいしょ	28年	2,686	238	221	242	255	鹿児島	63%
29年		2,833	232	242	241	222	北海道	37%	
30年		3,017	127	139	132	113			
元年		3,102	126	132	130	111			
2年		3,425	146	125	129	181			
5ヵ年平均		3,013	171	168	171	174	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
3年見通し		2,500	240	240	240	240			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量 単価 円/Kg		
鹿児島、北海道が中心となる。北海道の貯蔵物は例年に比べてかなり残量少なく、ほぼ3月で終了する見通し。鹿児島の離島産は天候不順と面積減少により、入荷量は多かった前年を大幅に下回る見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。									
たまねぎ		28年	6,691	84	86	88	85	北海道	84%
	29年	6,805	100	100	108	98	愛知	8%	
	30年	7,249	99	99	109	94	静岡	6%	
	元年	6,606	116	136	121	100	熊本	1%	
	2年	7,182	77	81	80	74			
	5ヵ年平均	6,907	95	100	101	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
	3年見通し	6,900	90	90	90	90			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							数量 単価 円/Kg	
	北海道中心に静岡、愛知から入荷する。北海道の貯蔵物は計画的な入荷が見込まれる。新玉ねぎの静岡は生育順調、終盤を迎え、中旬までの入荷となるか。愛知も生育順調で安定した入荷を見込む。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。								

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	28年	1,885	621	669	647	566	宮崎 35%	
	29年	2,126	468	490	484	443	茨城 34%	
	30年	1,959	552	629	554	482	高知 20%	
	元年	1,746	636	631	681	596	鹿児島 10%	
	2年	2,042	669	689	671	654		
	5ヵ年平均	1,952	587	619	604	546	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,000	590	660	600	510		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、高知の西南暖地や茨城からの入荷となる。宮崎は生育順調で、一旦減らしていた入荷は回復する。一方、茨城は着果不良や肥大遅れにより、しばらく入荷が少ないか。全体として平年並の入荷を見込む。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					
	白菜	28年	6,692	216	200	217	233	北海道 57%
29年		7,493	225	226	231	221	鹿児島 42%	
30年		7,767	112	120	112	103	長崎 1%	
元年		7,235	114	120	115	107		
2年		9,239	126	107	120	148		
5ヵ年平均		7,685	156	151	156	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		7,600	200	220	190	190		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、鹿児島中心の入荷となる。北海道は貯蔵品から前進出荷となっており量を減らす。鹿児島は作柄まずまず。収穫作業が進めば、高値疲れもあって相場は軟化するか。 入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
タマネギ		28年	12,722	95	96	99	92	北海道 73%
	29年	12,197	129	122	129	134	佐賀 10%	
	30年	11,078	126	124	129	127	静岡 8%	
	元年	10,529	133	139	131	129	長崎 6%	
	2年	12,237	76	79	85	70	中国 1%	
	5ヵ年平均	11,753	111	111	114	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	12,000	100	105	100	95		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に、佐賀、静岡などからの入荷となる。北海道は貯蔵からの計画出荷で前年並の量を見込む。佐賀は増量していくが、静岡は切り上がり及早まり量を減らす。総じて潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	7,322	454	460	449	455	青森 23%
	29年	7,427	426	391	429	433	フィリピン 16%
	30年	7,331	423	427	431	423	愛媛 15%
	元年	6,850	446	415	440	454	熊本 11%
	2年	6,744	446	423	419	465	愛知 8%
	5ヵ年平均	7,135	439	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	7,000	410	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、かんきつ類、りんごなどが主な品目となる。みかんを含むかんきつ類の入荷量と価格はともに前年並を見込む。りんごは在庫量が多く安値となり、いちごは端境期で入荷減となる見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
りんご	28年	1,752	342	342	349	349	青森 100%
	29年	1,764	283	290	279	277	
	30年	1,449	334	337	330	340	
	元年	1,725	268	274	262	271	
	2年	1,572	351	340	355	360	
	5ヵ年平均	1,652	314	315	314	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,750	270	260	260	260		
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	青森からほぼ全量を入荷する。例年と違い、リンゴフェア等の販売促進が減少することから産地の在庫は前年より多い予想。下級品の増量も懸念され、在庫もあることから、価格は平年より安値となるか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
いちご	28年	1,080	1,200	1,416	1,178	1,044	愛知 56%
	29年	1,050	1,163	1,158	1,191	1,150	熊本 28%
	30年	1,002	1,178	1,135	1,171	1,232	鹿児島 6%
	元年	889	1,389	1,488	1,456	1,261	佐賀 3%
	2年	905	1,244	1,222	1,254	1,252	宮崎 2%
	5ヵ年平均	985	1,230	1,281	1,243	1,182	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	900	1,250	1,250	1,230	1,220		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に熊本などからも入荷する。3番果が上旬に終盤を迎え、中旬からは4番果との端境期で入荷量は減少する見通し。愛知の入荷量は前年をやや上回る見込みだが、平年に比べてかなり少ないか。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	30,808	502	498	492	515	青森 21%
	29年	32,767	462	454	454	475	愛媛 16%
	30年	30,633	491	502	477	493	熊本 8%
	元年	30,143	496	480	496	513	栃木 8%
	2年	29,211	512	484	500	498	フィリピン 7%
	5ヵ年平均	30,712	492	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	30,600	490	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	りんご、中晩柑類、いちごを中心に入荷する。温州みかんは入荷前倒しにより数量減となり、それに合わせて価格も維持される見込み。不知火は生育順調で、作付面積の減少を踏まえても前年並の量となるか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
りんご	28年	6,903	329	320	331	334	青森 98%
	29年	7,655	266	268	270	258	山形 1%
	30年	6,322	328	322	331	331	長野 1%
	元年	6,814	269	268	269	269	
	2年	6,069	353	346	343	344	
	5ヵ年平均	6,753	307	303	307	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,700	300	300	300	300	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	ふじは産地の在庫量多く、夏期高温の影響のあった昨年より入荷多いものの、小玉傾向となる見込み。王林、ジョナゴールドは平年より少ない見込み。入荷量は前年をかなり上回って平年並となり、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。						
いちご	28年	5,344	1,238	1,346	1,259	1,147	栃木 44%
	29年	5,252	1,209	1,209	1,207	1,212	福岡 18%
	30年	5,339	1,226	1,228	1,210	1,237	茨城 11%
	元年	5,102	1,335	1,438	1,359	1,239	静岡 8%
	2年	5,272	1,266	1,627	1,401	1,288	長崎 6%
	5ヵ年平均	5,262	1,254	1,369	1,287	1,224	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	5,300	1,260	1,320	1,260	1,200	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木や茨城中心にとちおとめ、福岡からあまおうなどが入荷する。3月上旬は2番果から3番果への切り替えでダラダラした入荷となり、中旬から3番果のピークを見込む。業務需要が弱い点が気になり。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。						

切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月28日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	28年	1,986	61	
		29年	2,023	58	
		30年	1,960	56	
		元年	1,868	58	
		2年	1,871	47	
5カ年平均		1,942	56		
3年見通し		1,850	56		
く	概要	愛知、沖縄中心の入荷となる。彼岸期に向けて生育は順調だが生産量の減少に伴い、入荷量は平年よりも少ない見込み。下旬からは大きく入荷が減少する見込みである。			
小 ぎ	実績	28年	2,365	36	
		29年	2,367	35	
		30年	2,408	26	
		元年	1,820	33	
		2年	1,784	27	
5カ年平均		2,149	32		
3年見通し		1,800	30		
く	概要	沖縄からの入荷となる。産地の直前調査では前年の85%ほどで彼岸需要期に関しては平年並みの入荷となるが、下旬以降は数量が大きく減少する見込み。			
カー ネ ー シ ョ ン	実績	28年	1,130	59	
		29年	1,499	46	
		30年	1,627	38	
		元年	1,445	46	
		2年	1,273	41	
5カ年平均		1,395	45		
3年見通し		1,350	45		
く	概要	愛知、和歌山、長野などから入荷する。多少の前進傾向はあるものの安定した入荷が予想される。輸入物も物日に対してはスケジュール化しているため、物日についても前年並みの入荷が見込まれる。			
か す み	実績	28年	191	102	
		29年	242	81	
		30年	253	68	
		元年	230	77	
		2年	188	74	
5カ年平均		221	79		
3年見通し		200	75		
く	概要	高知、和歌山、熊本からの入荷となる。2月は前進気味の出荷となっていたため、中旬以降頃から入荷数量は減少していく見込み。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	28年	295	214	
		29年	368	168	
		30年	317	177	
		元年	275	193	
		2年	281	160	
	5カ年平均		307	182	
	3年見通し		280	175	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、愛知から入荷する。数量は極端に多くないが、纏まってくる。鉄砲は高知、九州からの入荷となる。高知の作付け減により彼岸向けはさほど多くない見込み。LAは埼玉、高知からの入荷で前年並みを見込んでいる。</p>				
洋らん	実績	28年	579	73	
		29年	503	82	
		30年	443	85	
		元年	505	70	
		2年	425	75	
	5カ年平均		491	77	
	3年見通し		450	80	
概要	<p>徳島、愛知、高知を中心に輸入物が入荷する。寒さも和らぎ、胡蝶蘭、カトレア等徐々に入荷は増えてくる。輸入のランや台湾産のオンシジウムも彼岸需要に合わせて入荷増の見込み。</p>				
ばら	実績	28年	938	89	
		29年	1,072	83	
		30年	898	82	
		元年	758	93	
		2年	670	83	
	5カ年平均		867	86	
	3年見通し		750	85	
概要	<p>愛知、岐阜、三重中心に入荷し、長野も始まる。輸入に関しては安価な国の入荷が少なく、価格の注文に対しての対応が難しいことが見込まれる。</p>				
枝もの	実績	28年	1,631	51	
		29年	1,812	52	
		30年	1,557	56	
		元年	1,538	56	
		2年	1,287	52	
	5カ年平均		1,565	53	
	3年見通し		1,350	55	
概要	<p>静岡、長野中心に入荷する。節句が終わると桃から桜がメイン花材となる。桜は昨年のコロナ禍でも堅調な販売となった花材で、卒業式等やさくらの日(3/27)には一層引き合いが強まる。入荷量は昨年並み、単価高の予想。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	28年	1,382	464	
		29年	6,743	306	
		30年	3,204	308	
		元年	1,141	476	
		2年	4,311	396	
	5ヶ年平均		3,356	354	
	3年見通し		4,200	405	
概要	<p>入荷量は前年より若干減と予想。鉢サイズの割合も概ね変わらず、5号鉢中心の入荷となる。価格は入荷量の減少に伴い安定。大輪のピンク・黄色の引き合いが変わらず強い。前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（49.2%）、2位長野（24.0%）、3位千葉（22.4%）となっている。</p>				
ファレノ	実績	28年	33,658	3,922	
		29年	34,518	3,580	
		30年	30,161	3,643	
		元年	27,637	3,752	
		2年	30,545	3,094	
	5ヶ年平均		31,304	3,601	
	3年見通し		30,500	3,098	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響により販売単価が不安定で輸入苗の数量を減らしている。冠婚葬祭、退職、就任等の人事異動等の需要が例年通りあれば単価は高騰する予想。大輪、ミディー問わず同じ状況になると思われる。前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（55.6%）、2位静岡（8.0%）、3位宮崎（6.7%）となっている。</p>				
バラ	実績	28年	71,715	217	
		29年	67,441	196	
		30年	64,216	187	
		元年	60,318	193	
		2年	63,425	178	
	5ヶ年平均		65,423	195	
	3年見通し		63,000	179	
概要	<p>入荷量は前年並みか。3～4号サイズ中心に中値安定と予想するが、コロナ禍の影響で卒園・卒業利用が危ぶまれ、業務需要は期待できない状況が続く。入荷量は徐々に増え6号以上の大きいサイズも後半から一気に入荷増となる見込み。前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（54.8%）、2位岐阜（35.2%）、3位愛媛（7.3%）となっている。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	28年	82,645	223	
		29年	85,668	201	
		30年	80,739	218	
		元年	66,241	217	
		2年	60,559	210	
	5ヶ年平均		75,170	214	
	3年見通し		60,000	212	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減か。日ごとに引き合い強くなると思われるが、社会情勢に大きくなびく可能性はあるが、下旬から品薄感が予想される。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(42.1%)、2位奈良(13.8%)、3位埼玉(12.5%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	28年	96,804	178	
		29年	91,370	181	
		30年	103,451	174	
		元年	76,241	199	
		2年	74,918	192	
	5ヶ年平均		88,557	184	
	3年見通し		75,000	193	
概要	<p>入荷量は前年並みか。鉢サイズは、3.5号ポット・4号鉢中心となる。価格面では5号鉢以上が厳しく、主要サイズが安定するため大幅な変動はないと予想。最近では、色変わり・濃い赤や濃いピンクの栄養系品種が人気。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(24.0%)、2位埼玉(23.1%)、3位静岡(18.0%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	28年	28,231	718	
		29年	27,041	629	
		30年	25,890	563	
		元年	22,345	587	
		2年	20,048	512	
	5ヶ年平均		24,711	609	
	3年見通し		19,500	513	
概要	<p>近年の販売不振により全体の作付け量が減少にあるため、入荷量は全体に減る見込み。前半戦は小鉢中心の動きになると思うが、中盤以降6号以上の大きい物の動きが良い見込み。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(47.5%)、2位岡山(22.7%)、3位高知(11.7%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.573
令和3年3月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434